

平成 30 年度奨学生小論文課題

『日本は世界 5 位の農業大国』 著者 浅川 芳裕

出版社 講談社+α 新書

2015 年安倍政権は 60 年ぶりといわれる農業・農協改革に手を付けました。当初はいよいよかと希望をもったものですが、最初の構想から内容はどんどん後退し、羊頭狗肉の政治的決着をみました。農協・農水省の抵抗勢力が改革を妨げたのでしょうか。そのように勘ぐってしまいたくなるほどの彼らの既得権益がこの本に挙げられています。読んでいて本当に気が滅入るばかりです。

しかし知らないでは済まないことなので、そもそもの問題定義でもある第 1 章、希望と対策に重きを置く 4 章、5 章、6 章を中心に、わかったこと、わからないこと、疑問点など論じてください。

そして政府発表というものがどのような意図をもってつくられているのか。官僚はどのように介在し、資料を作成しているのか。なぜ官僚はそう言わねばならないのか、という視点でも物事を考えてみてください。

この本は民主党政権下で著されたものですが、その類の記述による瑕疵は本質的なものではないので読み飛ばしてください。

以上